

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	健康推進課長 村下 伯	電話番号	0852-22-5248
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	保険医療機関等指導事業		
目的	(1) 対象	保険診療等を受ける患者	
	(2) 意図	保険医療機関等への保険診療及び請求についての指導をすることにより、適正な保険診療等を受けることができる。	
事業概要	適正な保険診療の確保等を図るため、医療指導専門医、医療事務員を嘱託し、医療機関等に対して、レセプト等の内容確認及び面接方式による指導監査を行う。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	目標値		95.0	95.0	95.0	95.0	%
	式・定義	取組目標値						
	式・定義	実績値	100.0					
2	指標名	目標値						%
	式・定義	取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	2,395	4,987
うち一般財源 (千円)	2,395	4,987

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

・当該事業は、中四国厚生局島根事務所と共同で実施していることから、年度初めに当該1年間の指導体制、スケジュール、実施方法等について打ち合わせを実施するなど、連携を強化しながら進めている。  
 ・保険医療機関の指導形態として、集団で実施する指導、個別に実施する指導がある。  
 ・平成27年度についてはほぼ計画した実施機関について指導終了。ただ、年度途中で新たに指導対象の医療機関が追加されることがあり、工夫をしながら実施。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

中四国厚生局島根事務所との打ち合わせ実施等により連携を強化することにより、順調に達成率が高くなってきている。

<参考>

- ・H24 66%
- ・H25 86%
- ・H26 98%
- ・H27 100% (予定71、実績71)

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

当該年度において計画的に指導を実施するため、年度始めに指導実施計画を立てながら実施しているが、様々な事情により指導ができなくなる状況が発生する。

②困っている状況が発生している「原因」

指導が計画的に実施できなくなる様々な事情として、年度途中で指導対象の医療機関が追加されることによる指導数の増加や、指導の対象となった医療機関の個別事情による指導日の変更、当該指導事業以外の関連行事等との関係などがある。

③原因を解消するための「課題」

現在の指導方法のあり方にも関連する事柄であるため、島根事務所との協議が必要。  
 また、保険医療機関の診療日の関係上、指導は基本的に休診日である木曜日に実施していることから、どうしても1年間に実施できる数が限られている。実施機関数をこなすためには、木曜日以外の曜日に実施することも検討が必要となる。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

計画的な実施に影響を与える要因への対処について、随時中四国厚生局島根事務所と打ち合わせ会議を開催するなど、さらに連携を強化し、計画的な実施を図る。木曜日以外の指導実施について、三師会(医師会、歯科医師会、薬剤師会)に対して協力を依頼する。

9. 追加評価(任意記載)

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。  
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。